

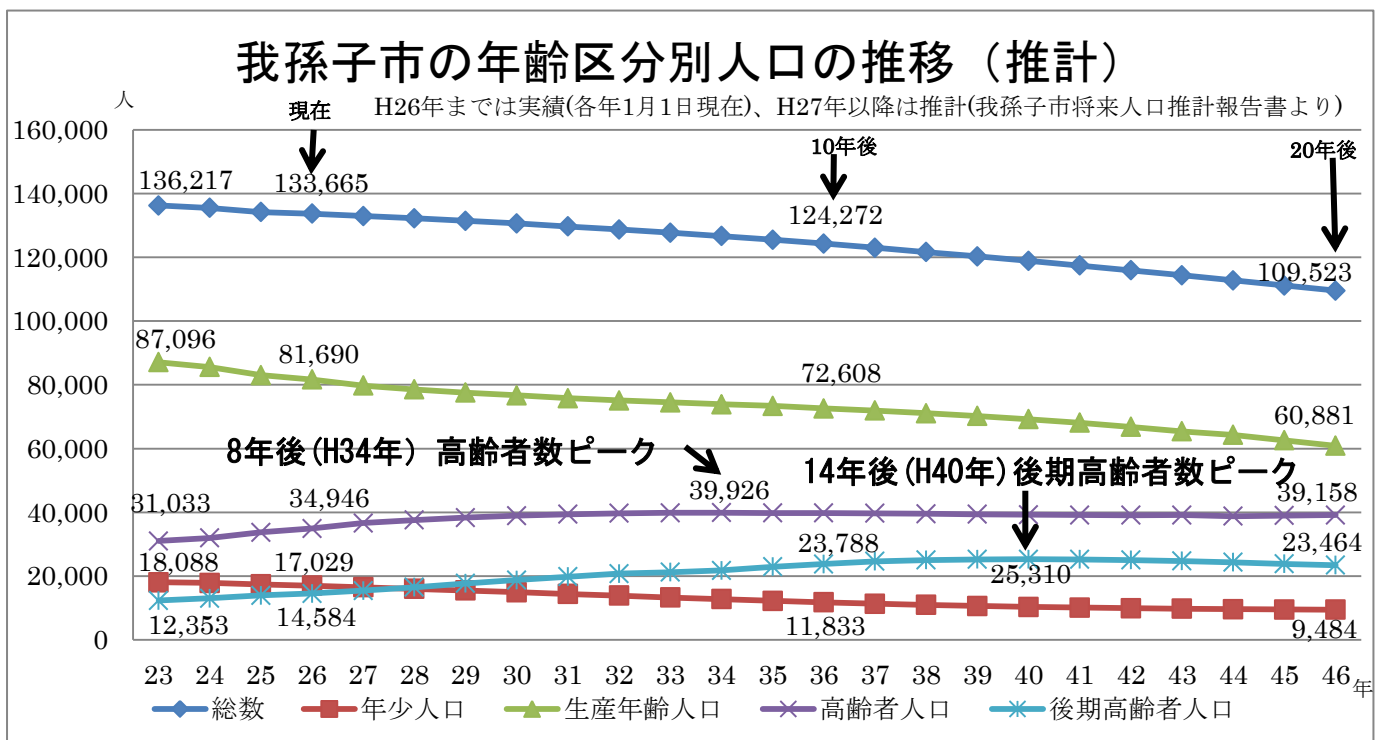
発行「内田みえこと我孫子を
デザインする市民ネット」
〒270-1108
我孫子市布佐平和台2-18-10
TEL/FAX04-7139-8859
mieko50@jcom.home.ne.jp

あびこの風



【超高齢社会への対応 No.1】

1. 我孫子市の高齢化の現状と今後の予測



(1) 高齢者人口と高齢化率の推移

	現在(H26年)	10年後(H36年)	20年後(H46年)
高齢者(65歳以上)	34,946人、26.1%	39,831人、32.1%	39,158人、35.8%
後期高齢者(75歳以上)	14,584人、10.9%	23,788人、19.1%	23,464人、21.4%

- 現在は、約4人に1人が65歳以上、約10人に1人が75歳以上
- 10年後・20年後は、約3人に1人が65歳以上、約5人に1人が75歳以上
- 団塊の世代が全て後期高齢者になる平成37年は、約5人に1人が75歳以上になると推計されている。⇒ **2025年問題**

(2) 地域の高齢化の状況 (H26.5.1現在)

- 高齢化率の高い地域：14の地域が高齢化率40%以上
 新木野2丁目：48.8% 布佐平和台2丁目：47.7% 平和台3丁目とつくし野6丁目：46.7% ※人口100人以下の集落の中に高齢化率50%の限界集落が出現
- 高齢化率の低い地域：1つの地域が高齢化率10%以下
 南青山：8% 柴崎台4丁目：10.4% 南新木2丁目：11.3%



(3) 高齢者の世帯状況

- 高齢者単身世帯：6,750世帯、高齢者のみ世帯：7,020世帯
 ※高齢者単身世帯と高齢者のみ世帯は年々増加→生活支援の仕組みづくり急務

(4) 要支援・要介護認定者数：4,588人 (高齢者全体の13.4%)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
H21	510人	535人	788人	685人	589人	439人	364人	3,910人
H25	608人	541人	1005人	781人	591人	625人	437人	4,588人
増減	+166人	+6人	+217人	+96人	+2人	+186人	+73人	+678人

(H25.10.25 高齢者支援課の講演「我孫子市の高齢化、医療・介護体制の現状と課題」の資料より)

- 特別養護老人ホームの待機者数：440人 (H26.5.1現在)
- 今後の特養整備予定：「あおいの里」(定員100名、柴崎台、H27年3月竣工予定)

(5) 認知症高齢者数 (市が把握している認知レベル2以上の方)：2,938人 (H26.5.1)

- グループホーム数：10事業者
- グループホームの整備予定：
 ガーデンコート我孫子北(定員18名、我孫子北地区、H26年7月竣工予定)、アンダンテ(定員18名
 布佐地区、H26年12月竣工予定)、あらきのお家(定員9名、湖北地区、H27年3月竣工予定)

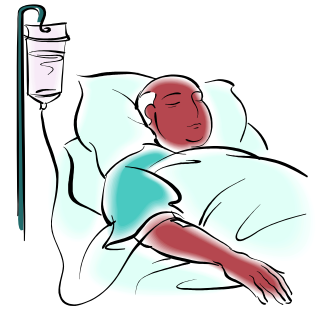
(6) 高齢化の進展の財政への影響

- 介護保険事業保険給付費の推移

- ・平成 24 年度 64 億 3 千万円 (対前年度比 +5 億 6 千万円)
- ・7 年間で 20 億円以上増加

➤国民健康保険加入者 (0~74 歳) の総医療費 (一般+退職者分) の推移

- ・平成 24 年度 110 億円 (対前年度比 +約 1 億円)
- ・総医療費は平成 20 年から急増、平成 23 年度に 100 億円を超過



➤後期高齢者 (75 歳~) の総医療費の推移→特に後期高齢者の総医療費への対応が課題

- ・平成 24 年度 108 億円 (対前年度比 +約 6 億円)
- ・総医療費は平成 20 年から急増、平成 23 年度に 100 億円を超過
- ・平成 20 年から平成 21 年までの 1 年間で 14 億円増加
- ・1 人当たりの医療費約 80 万円/年



(7)我孫子の医療の現状

➤一般病院の病床数 : 887 床 (H26.4 以降)、667 床/10 万人 (全国 712.2 床/10 万人、H21)

※病床数は全国平均と比較して少ない→県に病床数増の要請をしていくとの答弁

➤病床利用率 (千葉県) : 79.2%→病床利用率アップのため病床利用率調査を国が要請

➤救急告示病院数 : 6 ※救急告示病院の病床数の把握なし (全国 680.5 床/10 万人、H21)

→今後の整備の前提として病床数の調査を要請

(8)在宅医療の現状

➤在宅患者訪問診療実施医療機関 : 在宅医療登録 18 (病院 3、医院 15)

- ・往診 (24 時間対応) : 医院 5 往診 (24 時間対応ではない) : 15 (病院 2、医院 13)

※現在、訪問診療は個別対応→在宅医療体制の構築が急務

➤歯科訪問診療 : 1

【みえこの提案】住みなれた地域で安心して暮らせる地域づくり

『2025 年問題』が叫ばれています。2025 年 (平成 37 年) の我孫子市の後期高齢者は約 1 万人増加し、必要な医療や介護サービスの絶対量が急速に増えることとなります。人は 75 歳以上になると病気になったり、身体が不自由になったりする傾向が統計的にも明らかで、現状のままでは、医療や介護の受け入れ施設は確実に不足すると予測されます。また、2025 年に我孫子市でお亡くなりになる人は現在の 1.5 倍と推計され、これまでのように医療機関で最期を迎える人が 85%とすると、約 500 人が入院できなくなると予測されています。いわゆる“病院で死ねない時代”が迫っています。医療や介護従事者の労働力不足、増大する医療費や介護給付費の問題等により、受け入れ施設の整備にも難しさがあります。また、最近のアンケートでは、自宅で最期を迎えたいと考える人が半数を超えています。このような状況の中で、病気になっても、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス等が切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築は急務であり、平成 27 年からスタートする第 6 期介護保険事業計画の柱にして重点的に取り組むべきだと考えます。(H25 年 12 月議会、H26 年 3 月、6 月議会で連続質問)

⇒**地域包括ケア構想も取り入れ対応していきたいと思えます** (H26 年 6 月議会福祉部長答弁)

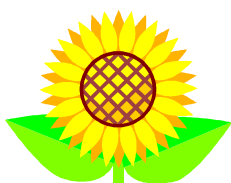
Information

自治体議員政策情報センター 主催

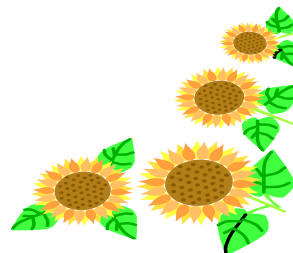
市民と職員と議員の皆さん
一緒に考えましょう!

全国政策研究集会 2014 in 千葉

8/8(金) 9(土)



中央学院大学6号館



8/8(金)

てい談 「新たな地域づくりと市民合意」

千葉市長 熊谷俊人さん、尼崎市長 稲村和美さん
中央学院大学教授(元我孫子市長) 福嶋浩彦さん

講演 「放射能ホットスポットにおける市民自治」

大石光伸さん(常総生協副理事長)、木本さゆりさん(放射能から子どもを守ろう関東ネット共同代表)

分科会 I-1 未来にツケを回さない公共施設再生

伊藤伸さん(構想日本政策担当ディレクター)、岡田直晃さん(東洋大学 PPP 研究センターリサーチパートナー)

分科会 I-2 放射能汚染から子どもを守る

大石光伸さん、大野ひろみさん(佐倉市議、子ども被災者支援法自治体議員連盟代表)、木本さゆりさん

分科会 I-3 「首長の権限強化」で教育委員会制度はどう変わる

高橋哲さん(埼玉大学)、上原公子さん(元国立市長)、佐藤浩子さん(元中野区議会議員)

8/9(土)

分科会 II-1 地域で安心して暮らし続けるまちへ

木村精一さん(東京大学高齢社会総合研究機構, 元柏市職員)、島村善行さん(松戸医師会、在宅ケア委員会委員長)

分科会 II-2 地域でつくる子育て支援

山崎久江さん(我孫子市子ども部次長)、深津祥子さん(親子ルーム・バンビーノ)
宮本慈子さん(我孫子市ファミリーサポートセンター)

分科会 II-3 議会基本条例で問われるもの

中尾修さん(元北海道栗山町議会事務局長)、福嶋浩彦さん

お問合せ：080-3096-0263 (実行委員会代表 内田みえこ)

ホームページ&ブログ <http://uchida-mieko.jimdo.com/>